急ぎ過ぎだよ 人類は。
ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてェ

雑報 縄文

いろんな考えがあるから 面白い
いろんな人がいるから 楽しい

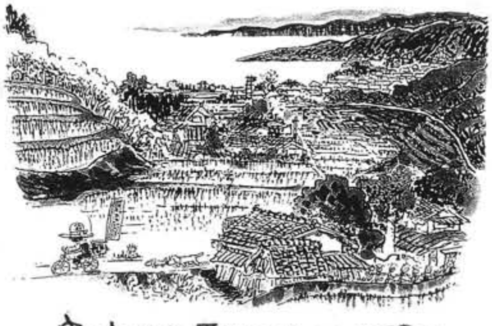
No. 719
2025年11月4日

編集・発行 鈴木厚正
〒266-0005 千葉市緑区誉田(ほんだ)町2-21-359
T&F 043-291-2917

も・く・じ

	ページ
● 友魂(6・完)	2
● どうしてもお伝えしたいこと③	6
● 台風22号直撃～受難の旅～	8
● 「生きるための読書」ほか	10
● 戦争絵画展「記録をひらく記憶」	14
● お便りから	15
● 山仕事(10月、大平)	21
● 大転換した自衛隊の訓練	23
● 長射程ミサイル 静岡、熊本へ	24
● 外国人排斥あおる恐れ	25
● 安倍色くっきり	26
● け・い・じ・ば・ん	〃

『我が心の般若心経』
自由律俳句の種田山頭火が若くして逝った母の位牌をふところに行乞行脚しながらかきのこした日記と俳句のかず〳〵を読んでいると私にはお経のように心にひびく
さみしがりやでお酒が大より好きで行き先々の俳友達をたずねてはご馳走になりそのままを書き留めた山頭火日記を私が少年の頃見た景色と合せて描かせていただいている
心はいつも山頭火



泉ゆきを『心はいつも山頭火』
(日本習字普及協会)

メール配信をご希望の方は、
<suzukikosei.san@gmail.com> へ。
三宅伊都子さんが
応対してくださいます。

題　字：故 佐村隆英和尚(元 千葉県長柄町本光寺住職)
カット：故 泉ゆきをさん(にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330　※この号の切手は、花の彩り。

山仕事（10月、大平）

10月21日（火）、くもり。

暑く長い夏が、一夜明けると突然の秋。富士山初冠雪。

天浜線掛川駅で、シルバーパス購入。70歳以上年間1万円。佐藤貞敏さんと初めて買ったときは、3650円。1日10円である。今は、値上げに加えて乗降のたびに100円を支払うようになった。

敷地駅で久米さん、若林さんに迎えられる。前回は9月2〜4日だったから、ずいぶん長く感じる。

買物の後、男5名（竹中、若林、原田、山崎さんとぼく）で、佐野光信さんの家まわりの草刈り。道路際と県道曲がり角を刈る。日の入りが早く、うす暗くなった17:30終了。

康江、久米さんも一緒に、若林さんの車で「あらたまの湯」へ。

戻って、康江、久米さんが調えてくれた品々を啓史さんも一緒にいただく。

（夕）刺身（カツオ、タコの吸盤）、紀文の魚河岸揚げ、昆布と風呂ふき大根、もやしとツナのナムル、シイタケと昆布のスープ、大根皮のきんぴら、パリッと焼イワシ、豆もやし、漬物。夏の間野菜炒めのぼくには、大ご馳走だ。

啓史さんから、東垂れで電線の邪魔をしているサクラを伐る話。

10月22日（水）、終日雨。大事な中日なので痛い。道具のメンテナンスなど。

（昼）シイタケうどんと卵焼。

午後は、初めての牧之原「子生まれの湯」へ。一瞬ドキッとしたが、そんな訳ないか。雨だから空いていると思ったら、駐車場はほぼ満杯。

露天風呂につかっていた竹中さんによると「湯舟できいていると、白菜の出来が悪いとか、サツマイモが細く、乾燥芋にしかならないという話。近在の農家が雨で作業ができず、やって来たのだろう」とのこと。

一人、奇特な人が居た。露天風呂に置いてある椅子。ふつうは後から来た人が手桶で湯をかけてから座るが、その人は自分が座っていた椅子を湯で流して立ち去った。

戻って、シイタケ持参の青山さんも一緒に夕食。

（夕）サバとレンコンのソテー、コーンビーフのピリ辛炒め、豚しゃぶと水菜の中華風サラダ、マイタケのから揚げ、タコの残り。あとでおにぎりが。

夕食後はいつも話がはずむが、この日は時間がたっぷり。始まりは、消費者サイドの康江さん（元、消費科学センターの事務局長→副会長）と生産者サイドの山崎さん（元紀文食品のお客様相談室長）の議論。ひとしきり終ると話題が変わり、ときには農政の問題がとんできたりする。それでも、皆仲がよい。

10月23日(木)、くもり。

佐野さんちの残り、家の裏などにかかる。ご主人が病気で動けず、豚の飼育(仔とり)をやめて跡地にソーラーパネルを設置するとのこと。(ところで、ご主人、奥さんという言葉は使いたくないけれど、なんて言ったらよいか教えて)

終って、渡辺さんのお宅へ。ご亭主(これもダメか)が病気で医師から「動いてはダメ」と言われたそう。おまけにこの日、奥方が交通事故にあい、これから病院へ行くという。やってほしい場所の図をもらい、作業にかかる。

ぼくはひと足先に上がらせてもらい、皆はギリギリ11:30まで作業。

その間、水窪(みさくぼ)から守屋千づる、熊谷道子、竹中礼子さんがご馳走持参で来てくれていた。中谷今朝菊さんは都合が悪かったとのこと。大急ぎでシャワーを浴び、頂く。青山さんも。← 18ページのお便り参照。

(昼) 五平餅(クルミ味噌)、ポテトサラダ、刺し身こんにゃく、インゲンと人参のゴマ和え、野菜の煮物(紀文の竹輪、人参、シイタケ、タケノコ、大根、高野豆腐)、クリの渋皮煮(ワイン入り)。

食材のほとんどは皆さんが作られたもの。

いつもの時刻(敷地駅12:58発)が迫り、あわただしく身支度をし、水窪の昔乙女3名と青山さん、久米さん、竹中さんに見送られ、若林さんに敷地駅まで送ってもらい帰宅。　次回、11月25～27日。斎藤さん、畑が暇になったら、いかがですか。

～～ 守屋千づるさんのお便り ～～

◇ 昨日はお邪魔しました。

正士さんのおうちのまわりの草がきれいに刈られてすっきり。私まで幸せな気持ちになりました。ご苦労様でした。

厚正さん、康江さん青春まっただ中のお二人にお目にかかることも出来、本当に幸せな日でした。帰りの車で「行って良かったね！嬉しかったね」と3人で話しながら来ました。予定されている作業の皆さんの迷惑になっていないと良いけど……と心配です。私たちの都合が優先で押しかけて行くのですから、すみません。

迷惑だなんてとんでもない。前便(18ページ)で「昔乙女たちそれぞれ忙しそう」とあったので、半ば諦めていました。4名の昔乙女(とご馳走)に会えるのは、とても嬉しく力づけられます。